

本日は、卒業生の保護者の皆様のご臨席の下、第七十回卒業証書授与式が、内容は例年とは異なりますが、このように挙行できますことに大変うれしく思います。

全国的に臨時休業となっている現在、卒業式を行わないというところもある中、子育て支援に力を入れられている宇都宮市並びに「学校とともに歩む」を掲げる宇都宮市教育委員会の「かけがえのない卒業式は実施する」という英断で本卒業式が挙行されています。

卒業生の気持ちに寄り添った判断とリーダーシップに心から敬意を表したいと思います。ただ今、二百七十八名の生徒に卒業証書を授与いたしました。こうして無事卒業できますのも、地域の方々の温かいご指導やご支援の賜物と存じますが、こうして無事卒業できただきっている保護者の皆様の惜しみない愛情があつてのことであると考えます。

卒業生の皆さん、「ご卒業誠におめでとうございます。」皆さんは、三年間の中学校の課程を修了するとともに、小学校入学以来の九か年の義務教育の課程を修了することになります。先程、一人一人に手渡した卒業証書は、その証となるものです。この四月から、自分が選んだそれぞれの道を進むわけですが、その未来は明るく希望に満ちたものであることを願っています。

さて、卒業にあたり皆さん自身もこの三年間を振り返り、様々な出来事や思い出が式辞よみがえってくると思います。真新しい制服に身を包み、多くの夢と希望を抱えて校門をくぐった入学式、初めて会う新しい仲間と教科ごとに代わる先生方との出会いから中学校生活がスタートしました。

冒険活動教室では、その新しい仲間と寝食を共にし、様々な野外活動に取り組み、コミユニケーションや協力することの大切さを学んだことと思います。

二年生では、宮っ子チャレンジウィークに挑戦しました。市内の様々な事業所等で五日間に亘り、仕事をするという体験は、ずいぶんと緊張したことと思いますが、働くことの尊さや厳しき、社会のルール・マナー、他人を思いやる心の大切さなど多くのことを肌で感じることでできたのではないかと思います。

そして、三年生となった皆さんの活躍は、本当に素晴らしいものでした。歴史的な文化財が数多く残る世界遺産、奈良・京都の街並みを巡った修学旅行。自分たちで調べて作ったコースをめぐる三日間の旅は、仲間との距離を縮め、絆を深めた、忘れえぬ思い出になったことと思います。「疾風迅雷 勝利をその手で 掴み取れ」をスローガンに、クラスのため・仲間のために全力で競技した体育祭。校庭の水取りをすること、三時間。体育祭の開催にこぎつけました。迫力ある演技や競技、そして、午後降り出した雨の中で力の限りの万歳三唱。ひととき大きな感動を与えてくれました。体育館を会場に開催した文化祭。発表されたどのプログラムも、それぞれの実力が発揮された大変素晴らしいものでした。その中でもやはり特質すべきは、三年生による合唱コンクールの演奏で、その美しいハーモニーと迫力は、「さすがに三年生はすごい」と誰もが納得する発表であつたと思います。

そして、暑い日、寒い日も、一生懸命練習に取り組み、県大会はもとより、関東・全国大会でも大いに活躍した部活動。今年度は、栃木県中学校春季大会「総合優勝」という輝かしい結果を残してくれました。また、県学校音楽祭において吹奏楽部が大賞、合唱部が金賞を受賞しました。それらの功績は、練習や練習試合、遠征や大会の折に、保護者の方々の並々ならぬご支援があつたからこそと、応援に行つた私はもち論のこと、生徒の皆さんは感じているはずで、保護者の皆様の熱意と強いサポートに改めて感謝申し上げます。

さらに、毎日、強い責任感をもって取り組んだ生徒会活動、地域の一員として地域行事に貢献した各種ボランティアなど、様々な場面で本校のリーダーとして下級生をよく導き、大いに力を尽くしてくれました。

これらの行事を思い返してみても、そこには、友達や仲間と協力し、共に支え合って努力した皆さんの姿が思い浮かんできます。皆さんのこうした活躍は本校のよりよい伝統として、今後後輩たちに受け継がれていくものと思います。

ここで、巣立ちゆく皆さんの門出に向けて二つの事柄について話をいたします。一つ目は、「フットワーク・ネットワーク・チームワーク」の三つのワークです。「フットワーク」は、「行動力」です。自分から行動することで、自分から様々な人たちに会うことで、自分の世界が広がります。「運」という字は、「運ぶ」という意味もあります。自分からあちらこちらにアクセスすることで「運」も広がっていくはずですが、「ネットワーク」は、「人と人とのつながり」です。人と人とのつながりが増えれば増えるほど、お互いに切磋琢磨できます。その結果、自分自身を高めることができます。「チームワーク」は、「ほかの人の連携」です。陽南中学校では体育祭や文化祭といった学校行事で絆を深めてきました。一人ではできないことも仲間と協力することで、成し遂げることができるようになります。卒業生の皆さんは、固い絆で結ばれた陽南中学校を離れることになりましたが、新しい場所で、新たな仲間との絆を深め、力を合わせて困難を乗り越えていってください。

二つ目は、「言葉を大切にしてほしい。」ということ。人は、話し言葉にしても書き言葉にしても自分の思いや願いを言葉にして、人に伝えていきます。言葉がなくては、他人とのコミュニケーションはできません。しかしながら、只伝わればよいというわけではありません。「たった一言が人の心を傷つける。たった一言が人の心を温める。」という言葉があります。この言葉は、相手のことを考えて、発言しなくてはいけないということを言っています。先程のネットワークにしてもチームワークにしても人との関わりがあります。人との関わりにおいて、相手のことを考えて発言することが大切です。そうすれば、皆さんの人となることができずし、チームワークもより強固なものとなるはずですが。皆さんは、「品格」という言葉を聞いたことがあると思いますが、「品格」を感じさせる人は、正しい日本語、美しい日本語を使っています。逆に言うとそのような言葉を使うと「品格」のある人間になっていけるといえることです。言葉を磨くことで人格を高められることを期待します。

さて、保護者の皆さま、本日は、お子さまのご卒業、誠におめでとうございます。新しい制服に身を包んで入学式を迎えた日から三年の月日がたち、お子さまは、たくましく、立派に成長されました。三年間に亘り、お子さまの成長を支えていただくとともに、学校教育に対しまして多大なるご支援、ご協力を賜りましたこと、高い席からではありますが、心より感謝を申し上げます。

結びに、卒業生の皆さんが活躍の舞台を中学校から、高校、地域、日本、さらには、世界へと広げていくことを期待しています。巣立ちゆく皆さんの未来に、幸多かれと祈りながら、校長の式辞といたします。

令和二年三月十日

宇都宮市立陽南中学校長

宇賀神 貴